

食料・農業・環境を考えるセミナー

近年、米価の高騰や需給のひっ迫など、消費者の食料の安定供給に不安を感じる出来事が増えています。いま「食料安全保障の確保」が危ぶまれる中、日々の食卓を支える米について、改めて生産者・消費者がその価値と問題を考えることが必要ではないでしょうか。

本セミナーでは、専門家や生産者を交え、米の流通や価格形成の仕組み、食料自給率の課題など、「米問題」の背景にある構造の解説を行います。

お米の本当の価値を理解し、消費者として、より良い食の選択をしましょう！

令和7年

12月3日(水)

13:30 ~
16:30

場所

TKPガーデンシティ千葉
4階コンチェルト

実出席 100名 (受付 12:45 ~)

農林漁業者及び関連団体組員・労働組員・
消費者団体構成員・一般消費者

オンライン 200名

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_fSSc9mA3TjSnyy_JZZKBOQ



11月30日(日)までにQRコードよりお申込み
ください。後日ご登録いただいたメールアドレス
に視聴用ページのURLを送付いたします。参加費
は無料です。
※セミナー上限人数は300名様までとなります。

米問題に考える
日本の食料安全保障
食と農の未来を考える

参加費
無料

テーマ解題 13:45~14:05 (20分)

米問題に考える日本の食料安全保障

東京大学大学院 農学生命科学研究科
特任教授 鈴木 宣弘氏

情勢報告① 14:05~14:35 (30分)

米の安定供給に向けた事業者の取り組み

(一財)食料安全保障財団
専務理事 久保田 治己氏

情勢報告② 14:35~15:05 (30分)

稲作農家にみる生産現場の現状

千葉県山武市 生産者 古谷 正三郎氏

ディスカッション 15:20~16:30 (70分/質疑含む)

米問題に考える日本の食料安全保障
～食と農の未来を考える～

コーディネーター 東京大学大学院 鈴木 宣弘 特任教授
登壇者 食料安全保障財団 久保田 治己 専務理事
県内生産者 古谷 正三郎氏

主催 食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム

後援 千葉県・千葉市・千葉県市長会・千葉県町村会・JA全中

〈食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム〉は以下の団体によって構成されています。

JAグループ千葉/連合千葉/千葉県生活協同組合連合会/千葉県経済同友会/消費者団体千葉県連絡会/
千葉県経済団体広報協議会/千葉県森林組合連合会/千葉県漁業協同組合連合会/千葉県農業会議